



協力隊活動報告

山口 千代

五戸町地域おこし協力隊(2017年4月~2020年3月)

出身:青森県平内町

着任直前の居住地:千葉県市原市

移住の理由:

食への意識が変わったことがきっかけで、夫婦で就農を目指し、自然豊かな青森県で農業をしようと移住先探し。

雪の少ない三八地域で、無農薬栽培での農業研修受け入れ先のある五戸町への移住を決意。

主人→2年間農業研修を経て2019年新規就農

私→3年間地域おこし協力隊



主な活動

もともとはミッション型募集

「古い家屋のリノベーション→人が集まる居場所作り」



物件の傷みがはげしく、費用面、技術面で断念



提案型活動へ変更

①使われていない場所の利活用

→小渡平公園・倉石温泉を会場にしたピクニックマーケット運営

(2017年8月～)

倉石コミュニティセンター図書コーナーの活用

(2018年2月～2018年12月)

町有古民家「ふるさとの家」の保存・活用(2020年1月～)

②伝統工芸「南部菱刺し」の継承と発展につながる活動

①ピクニックマーケットの運営

2017年8月スタート。

これまでに出店者数のべ226名、来場者数のべ1800名。

環境に配慮するコンセプトに共感が集まる。

- ・不要品を持ち寄って、ほしい人に持ち帰ってもらうコーナー「言い値でいいね」が好評。
- ・使い捨て食器をなるべく使わない。

いろいろな人が自由に交流できる居場所へ。

- ・家に話相手がないおばあちゃんの楽しみに。
- ・子どもたちが走り回って遊べる。お母さんもひと息つける。
- ・介護中の方がちょっとした気分転換に来てくれる。

「ごのへみらい会議」の会場として使われることもあり、子どもたちが走り回っている中で、町長や若手議員、一般町民が混ざって町のことを話す素敵な場にもなっている。





3人でマーケットを始めました。



いろいろなお店が並びました。



ワークショップもいろいろ。



春から秋は小渡平公園で開催。



冬季は倉石温泉ホールで。



このへみらい会議の様子。



②倉石コミュニティセンター図書コーナーの活用 (旧倉石村の図書館)

2018年2月～12月まで。活動した11か月間の利用者はのべ41名、本の貸し出し冊数は96冊。

本も空間も利用されていないのがもったいない。

- ・本の整理、週替わりでおすすめ図書の発信。
- ・ビブリオバトル開催。
- ・読書以外の利用提案。南部菱刺し展示、ブックカバー作りワークショップなど。



前年の利用者が年間で4名、貸出冊数が10冊だったことを考えると大幅に利用者が増えたが、継続するほどのニーズが見込めず約1年で撤退。

オープンなスペースで、古くてもおもしろい本がたくさんあるので、気になる方はぜひ見に行ってみてください。

③ 「ふるさとの家」の保存・活用

2020年1月～。

倉石温泉隣にある茅葺屋根の古民家。有志7名で「ふるさとの家保存会」を結成。補修・管理をしながら活用していく。



今後の活動予定

- ・ピクニックマーケットやイベント開催。
- ・コミュニティカフェ。
- ・スペース貸し（写真撮影など）。
- ・観光や移住の情報拠点。五戸へ移住を検討する人への窓口。
- ・大学生などのフィールドワーク受入。

今はまだ整備途中です。屋根に穴が開いていて補修にお金がかかります。カンパ募集中です。よろしくお願いします。



広い縁側でのんびりできます。



趣のある古民家。屋根以外は傷みが少ないです。



ごのへみらい会議で掃除。五戸高校の生徒たちと。



掃除の後は、密かな五戸名物「丸いも」入り鶏汁をみんなで。



たくさんの方に見てもらうことから始めています。



この家に実際に住んでいた大久保さん親子も来てくれました。



④南部菱刺しの継承・発展につながる活動

2017年6月に五戸菱刺し研究会に入門。
基本を学び終えた後は、師匠の高橋博子さんの活動のお手伝いもしている。

博子さんの活動お手伝いいろいろ

- ・五戸の小中学生への菱刺し体験。
- ・教頭会での菱刺し体験。
- ・移住交流事業での草木染めと菱刺し体験。

南部菱刺しを知ってもらう活動

- ・全国地域おこし協力隊サミットにブース出展。
- ・公民館主催「五戸の菱刺し展」の企画・コーディネート。町内の2団体、1個人の合同展示を開催。

2019年12月には、師匠の博子さんが、功績を認められ五戸町で初めての青森県伝統工芸士に認定されました。
今後さらに五戸の菱刺し熱が高まる気がします。



まだまだ勉強中です。



小中学生への菱刺し体験。



教頭会での菱刺し体験。



移住交流事業での菱刺し体験。



全国地域おこし協力隊サミットin渋谷



公民館での「五戸の菱刺し展」

卒業後は…

生業は夫婦で農業。

ふるさとの家保存会の活動も行いながら、もちろん菱刺しも続けます。

どこかでお会いしたらお気軽にお声かけていただけたら嬉しいです。

3年間、ありがとうございました。